

和木町



Check

三秀神社遺跡記念碑

200年にわたる吉川、浅野両家の国境争いの中で、宝暦2年(1752年)に小瀬川口の与三野地で起きた騒動の犠牲者3人が神に祀られています。



僧橘仙の墓

弘化2年(1845年)から15年間、吉川藩の菩提寺『洞泉寺』の住職をし、島津藩無三和尚(西郷隆盛の師)が学徳を深く尊敬していたといわれる僧橘仙の墓です。



米元廣右衛門碑

米元廣右衛門(文政6年～明治22年)は晩年、小瀬川口での海苔の養殖で成功を収めました。以来、地域の農家は海苔の製造を副業とし家計を潤しました。



和木町役場 庁舎

黒川紀章氏が設計した赤レンガのモダンな建物。町のシンボルとして建築されており、およそ半世紀、現在も町行政の拠点として機能を果たしています。



彦根戦死士の墓

慶応2年(1866年)6月14日未明、第二次征長軍芸州口先鋒として先陣をきって小瀬川を渡ろうとし、長州軍の銃火を浴びて異境に死んだ彦根藩木俣隊使番竹原七郎平らの墓です。



和木町役場裏の枝垂れ桜

知る人ぞ知る枝垂れ桜。4月上旬が見頃で、開花中の夜間はライトアップされ、幻想的な雰囲気を楽しむことができます。



FOCUS

スポット 四境之役 封境之地碑

1866年(慶応2年)、江戸幕府の「第二次長州征伐」は長州側では「四境の役」や「四境戦争」などと呼び、「芸州口の戦い」の舞台小瀬川の右岸の石碑は長州軍が幕府軍を長州側(和木町側)に一兵も入れることなく封じ込めたことを今に残しています。

お問い合わせ/和木町教育委員会 0827-53-3123



特産品 もぶり

「もぶり」是和木、大竹地方に古くから伝わる方言で「まぜあわせる」という意味です。人参やごぼう、干しシイタケ等の具材を醤油味で甘辛く煮た郷土料理の一つで、素朴で懐かしい味として昔から親しまれています。

お問い合わせ/和木町地域振興協会 0827-28-4666

